

八幡平をもっと楽しむためのフリーマガジン

2018. vol. **20**
Take Free

ハチクラ

ステキな八幡平の情報発信をする倶楽部

Zu ga takai !!

笑う寺田に
福来たる!

- 09 酒と器と料理と
- 10 八幡平に生きる人
- 12 八幡平再発見
- 13 寺田あっちこっち
- 14 ハチクラ通信
- 16 ビッキーと行く八幡平

笑う寺田に 福来たる

黄門 助さん、格さん、
こらしめてやりなさい。
助、格 はっ。

♪音楽(No.8) オン
(乱闘シーンです。こも太刀まわりを皆で
考えてください)
♪音楽(No.8) オフ

黄門 助さん、格さん、もういいでしょう。

助 静まれ静まれ、
この紋所が目にはいらぬか。
格 ここにおわすお方を、
どなたと心得る。

助 先の副将軍、
水戸光圀公にあらせられるぞ。

助 一同、頭が高い、控えおろう。
一同 はあ。

八兵衛 カット、カット！

助さん、格さん、
お客さん全然頭下げませんよ、
いいんですか？

助 あっ、お客さんと
打ち合わせするの忘れてた。
格 すみませんが、
ひかえ、ひかえ〜って言ったら、
頭をちよっとでいいですかから
下げてもらえませんかでしょうか？
(黄門を指して)

助 ちよっとするさいんですよ。
黄門 助さん、格さん、
ここが一番の見せ所の、
いく場面なんだから、
しっかり頼みますよ。

八兵衛 それではもう一度やり直します。
一回、練習しましょうか？
(お客さんに練習させる)
オケイ。では改めて
よ〜いスタート！

寺田喜劇団「水戸黄門シリーズ第4作
「白坂観音の巻」より





1
2
3
4



「寺田喜劇団」の団長・工藤忠義さん(右)と広報を担当する遠藤和男さん(左)。

1 悪役担当の工藤さんは、水戸黄門でドラゴン一家の寅蔵親分を演じる。2 コミカルなうっかり八兵衛。女性団員が化粧を手伝う。3 衣装や舞台道具は、寺田喜劇団の舞台を見にくる地域の人々のご祝儀で賄われる。4 集合写真1枚の撮影でも、本気で笑いを取りに行くのが寺田喜劇団。

みんなの「寺田喜劇団」

八幡平市西根寺田で年1回、活動する「寺田喜劇団」。
お年寄りを笑顔にすべく、喜劇を追求している。

団員の使命は 笑わせること

八幡平市西根寺田地区。正月休みを過ぎたころ、ある団体が活動を開始する。「寺田喜劇団」だ。メンバーは約30名、年齢は幼児から80歳代までと幅広く、職業も会社員から飲食店経営、消防署員、看護師まで、さまざまだ。「喜劇団」という名前のとおり、彼らは観客を笑わせることを使命にしている。

「30秒に1回は笑わせることをモットーにしているんですよ」と工藤さんが言うと、広報と脚本を担当する遠藤和男さんが「だから、脚本の通りになったことがない」と苦笑する。

団員の誰もが観客を笑わせたという想いが強いいため、練習で脚本や演出が何度も変更され、本番直前まで検討される。こうしてつくり上げた喜劇は、3月

に開催される「寺田コミセンまつり」で一度だけ披露される。

「本番には、アドリブも飛び出しますよ。みんな、笑いの隠し球を持っていて、本番で出しとくるのです」



手作りの台本には細かい書き込みがあり、公演直前まで手直しが行われているのがわかる。

地域の人に笑いを それが活性化につながる

1999年(平成11)、当時の寺田公民館(現・寺田コミュニティセンター)館長だった遠藤弘見さんが、公民館を地域の人気が軽に集まる場にしたと思い、地域や小・中学校に協力してもらい「ただ公民館まつり



1
2
3
4

1 第12回てらだ公民館まつりで演じられた「寺田診療所物語Part II」の一場面。診療所を舞台に医師と住民のユーモラスな掛け合いが繰り広げられた。2 寺田地区のローカルヒーロー「ナナシグレんジャー」。寺田喜劇団が協力して結成されたが、地域が平和なため、出勤回数は1度きり。3 「寺田診療所物語Part II」の出演メンバー。4 「第8回寺田公民館まつり」で、女装して日本舞踊を披露。



初代・水戸黄門を演じた遠藤弘見さん。前・寺田公民館の館長で、「てらだ公民館まつり」の仕掛け人。

地域ぐるみで喜劇団を応援

地域のための喜劇団を応援するのは地域の人たち。
楽しみにしてくれる人のためにこれからも。

「お年寄りが笑う顔は特別ですよ。だから、私も団員も喜劇団にはまるのです」と工藤さん。寺田喜劇団は、衣装も小道具も本格的だ。そのための費用は、寺田コミセンまつりで喜劇団を見にくる地域の人からのおひねりで賄われている。

「だから、私たちは寺田の地域のために、1年に一度のためにやっているのです」と工藤さん。まちで「あ、喜劇団の人！早くコミセンまつりにならないかと楽しみにしている」と声をかけられることもある。

「そろそろ辞めようかなと思うと声をかけられたり、取材が来たりするのでやめられない」と笑う工藤さんと遠藤さん。3月の寺田コミセンまつりで、どのような喜劇を見せてくれるのか楽しみである。



寺田コミュニティセンターセンター長・島山城司さん。「寺田喜劇団は、地域と人をつなぐ役割も果たしている」と話す。

（現・寺田コミセンまつり）を始めた。寺田地区に在住する工藤さんと遠藤さんも出し物で協力し、ふたりで「どじょうすくい」をした。

「その頃はまた喜劇をするつもりはなかったですが、笑わそうという気がありました」

工藤さんは当時を振り返る。小学校のPTAや婦人会の出し物に音楽や照明をつけたらと提案し手伝っていたうちに、いつそのこと喜劇団を結成しようという話になったという。そして、2003年（平成15）の第5回てらだ公民館まつりで「寺田喜劇団」が誕生した。記念すべき第一回公演は「おしん」だった。

さまざまな演目があるが、人気は「水戸黄門」。観客の多くが

八幡平のつくり手たち

酒と器と料理と

寒露

わしの尾の「金印」は、八幡平に住む人たちにとって馴染深い酒である。晩酌や宴会の酒として暮らしの中にあつた。肴は、ふうせつ花のざる豆腐と相性のよいワイルドグレープ・ファームの「山ぶどう塩」。金印とも合う組み合わせである。



(株)わしの尾
「金印」720ml・760円(税別)
八幡平市大更22-158 TEL 0195-76-3211

WILDGRAPE FARM
「山ぶどう塩」30g・800円(税込)
八幡平市西根寺田8-86-3 TEL 0195-77-1570

ざる豆腐と生湯波 ふうせつ花
八幡平市保戸坂236 TEL 0195-72-8008

tamari 窯
八幡平市平箱8-126-2 TEL 090-5185-6723



1 毎年7月17日開催される白坂観音例大祭の山車巡行。
2 例大祭で行われる「泣き笑い相撲大会」。相撲が盛んな八幡平市らしい行事である。3 白坂観音のご開帳に合わせて、野口鹿踊りが奉納される。4 寺田小学校鼓笛隊パレード。

歴史とまつりを守る人々

寺田の夏のまつりといえば「白坂観音例大祭」。消防団が中心となって、地域で盛り上げる。

寺田には財産がある
それを伝えるのは「人」

「寺田喜劇団」の団員の多くが消防団にも所属しているという。彼らが中心となり行っているのが、毎年7月17日に行われる「白坂観音例大祭」の山車巡行だ。西根寺田にゆかりのある出来事をモチーフとした山車が町内を練り歩くのだが、一時期廃れてしまい、復活させたのが工藤忠義さんたち消防団だ。最初は軽トラックから始めたが、やがて自作するようになった。

「自分たちの山車が巡行する意味は大きい」と工藤さんは言う。さらに「伝統をなくすのも辞めるのも簡単。維持していく大切さを感じました。これを若い世代に伝えたい」と話す。

西根寺田には鹿角街道を始め、南部北家や檜山佐渡の歴史、白坂観音堂などの地域の宝がある。それを生かすのは「人」。そして、その人材がそろっている。

八幡平に生きる人

八幡平には、いろんな人がいて、
いろんなことを考えている。
共通するのは、
「こころをいこまちなよね」。
暮らしてこそわかる、
八幡平の魅力とは――。



子どもたちには、言葉だけでなく、実際に見せて教える。

相撲を通して伝えたいのは 人として正しく生きること

三研ソイル株式会社代表取締役社長

遠藤良貴さん



1「この子は、最近入った新弟子です」と、ちびっ子力士を抱っこする遠藤さん。2三研ソイルの研究室では、各作物の床土を分析・研究が行われている。3三研ソイルにある遠藤さんのデスクの壁には、番付表が飾られている。大相撲の全場所に足を運び、先場所は津志田さんの取組も見たという。



えんどう よしたか

1981年(昭和56)、八幡平市(旧西根町)生まれ。法政大学卒業後、三研ソイル株式会社に入社。2016年(平成28)から代表取締役社長。そのかわら、寺田相撲スポーツ少年団の代表を務めるなど、相撲の啓蒙も行っている。

「僕がこうして相撲に携われるのは、会社の従業員のおかげ。同じように、三研ソイルが成り立っているのは、農家の皆さんのおかげです」という遠藤さん。良い苗をつくるためには、良い床土が必要。その床土をつくるためには、性能のよい機械が必要という。

「でも、機械を使う人によって、だめな床土にもなるのです。最終的に重要なのは『人』だと思っただけです。失敗してもいいんですよ。その時に学び、次に生かせばいいのですから」と笑う。

これからも、相撲や会社を通して、遠藤さんの人材育成が続いていく。

午後5時ごろから、平館高校相撲部の練習場に子どもたちが次々と集まってくる。まわし姿になった子どもたちが四股や摺り足などを始めるのを「三研ソイル株式会社」の代表取締役社長・遠藤良貴さんが見守り、一人ひとりに声をかけていく。

三研ソイルは、稲・野菜・花卉用の土壌(ソイル)を研究開発し、製造・販売を行う会社である。遠藤さんは、仕事のかたわら、子どもたちや平館高校相撲部、三研ソイル相撲部の指導をしている。今年5月、時津風部屋に入門し、現在大相撲で活躍している津志田さんも遠藤さんのもとで稽古を積み、平館高校卒業後、三研ソイル相撲部を経て角界入りをした。

遠藤さんが相撲を通して、子どもたちに伝えたいのは「正しく生きる」ということだ。

「相撲が強くなれば良いというものではなく、『ありがとう』と『ごめんなさい』がちゃんと言える子になってほしいのです」

さらに「高校生には中学生に胸を貸し、中学生は小学生に胸を貸せ」とも話している。上級生が下級生の面倒を見ることで、相撲が強くなるだけでなく、思いやりや敬うことを学んでいくことにもなると話す。

寺田 あっちこっち

七時雨山の麓に広がる寺田地区。鉱泉から話題の店まで勢ぞろい。



移動販売車に商品を山積みして常連客の自宅へ。

たむらストア

盛岡市中央卸売市場から仕入れた生鮮食料品を始め、酒、生活雑貨などがそろいミニスーパー。移動販売も行っており、寺田の年配客にとってなくてはならない存在だ。



- 八幡平市西根寺田16-74-3
- TEL 0195-77-2226
- 営業時間 / 7:30~19:30
- 定休日 / 年中無休



泉質は硫黄泉で、源泉掛け流しである。

七時雨鉱泉 七時雨憩の湯

七時雨山から湧き出す鉱泉を引いた入浴施設。内湯のみだが、神経痛や筋肉痛に効果があり、湯冷めしにくいと評判だ。食事処もあり、ゆっくりと滞在できる。



- 八幡平市西根寺田25-191-1
- TEL 0195-77-2573
- 入浴時間 / 10:00~20:00 (最終受付19:00)
- 定休日 / 第1月曜
- 入浴料 / 一般600円、小学生300円、幼児無料



手づくり生地に八幡平の食材をトッピングし、石窯で焼く。

イタリアン×和食 ルーチェ&まるかん

創業60年の和食「まるかん」がイタリアン&和食の店としてリニューアルオープン。人気は石窯で焼く本格ナポリピッツァで、八幡平の食材を使用している。ランチ1,200円(税込)。



- 八幡平市西根寺田15-29-1
- TEL 0195-77-2520
- 営業時間 / 11:00~14:00 (13:30LO)、18:00~21:00 (20:30LO)
- ※ディナーは要予約
- 定休日 / 日曜ディナー、月曜



焙煎豆はすべて100グラム300円(税込)。

自遊工房 たけ珈琲

自家焙煎コーヒード豆のシヨップ。キリマンジャロやスマトラマンデリンなど、7種類の豆がそろい。試飲・飲み比べてから購入することもでき、風味の違いを五感で感じられる。



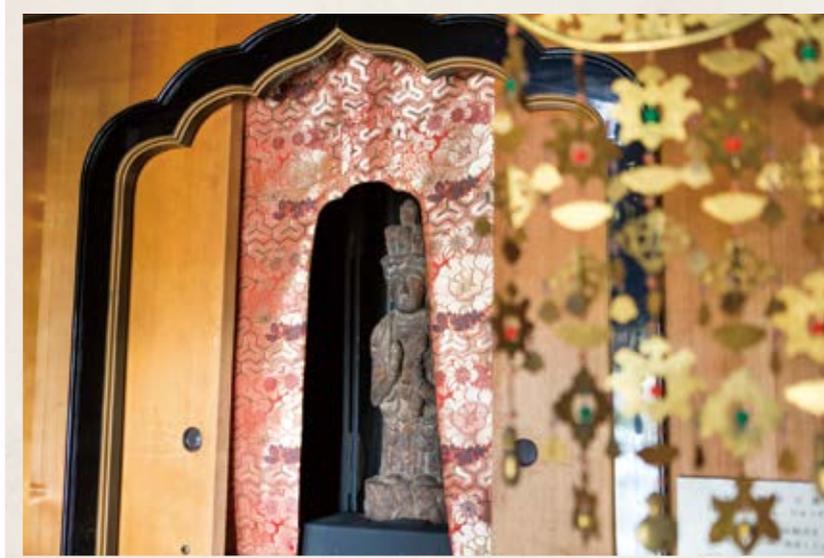
- 八幡平市西根寺田14-78
- TEL 0195-77-2530
- 営業時間 / 10:00~18:00
- ※来店の際は事前に電話を
- 定休日 / 不定休

r e d i s c o v e r y

八幡平
再発見

第7回

h a c h i m a n t a i



白坂観音堂の本尊「七面観音菩薩立像」。銅鉄品で像高50.3センチ。
● 聖福寺 / 八幡平市西根寺田20-27 TEL 0195-77-2940

聖福寺と白坂観音堂

奈良時代から伝わる
寺田の秘仏

八幡平市西根寺田地区にある江峰山「聖福寺」の開山は慶長3年(1598)までさかのぼる。秋にはみごとな紅葉に彩られ、冬には静謐な雪景色となる境内に「白坂観音堂」がある。

白坂観音堂は、聖武天皇が蝦夷に信仰心を持たせ荒々しい心を和らげようと、神亀5年(728)に建立させたもの。開基は、天台寺(二戸市)と同じく行基である。もとは七時雨山麓にあつたが、廃仏毀釈により明治8年(1875)に聖福寺に安置されたという。本尊の「七面観音菩薩立像」は、秘仏とされ、毎年7月17日に開催される「白坂観音例大祭」でのみ御開帳される。当日は、昼過ぎに御開帳され、鹿踊りが境内を巡るなか、七面観音が聖福寺本堂に移って仏事が行われる。ちなみに、白坂観音堂は奥州三十三観音霊場の三十一番札所であり、七面観音は、三十二番札所正覚院の十一面観音、三十三番札所の天台寺の聖観音と共に姉妹観音と伝えられている。

ハチクラ vol.20
読者アンケート

今号の「ハチクラ」はいかがでしたか？
今後、充実した内容にするため、
皆さまの声をお聞かせください。

問1

「ハチクラ」をどこで入手しましたか？

問2

本誌を入手した動機は何ですか？（複数回答可）

- 1 表紙に惹かれたから
- 2 内容がおもしろそうだから
- 3 八幡平市の観光に興味があったから
- 4 地元の情報を知りたかったから
- 5 無料だったから

問3

今号の記事でおもしろかったものを挙げてください
（複数回答可）

- 1 特集「笑う寺田に福来たる」
- 2 酒と器と料理と
- 3 八幡平に生きる人
- 4 八幡平再発見！
- 5 寺田あっちこっち
- 6 ハチクラ通信（読者の声・プレゼント）
- 7 ピッキーと行く八幡平

問4

「ハチクラ」へのご感想・ご意見をお書きください

次号のハチクラ vol.21は
平成31年3月20日発行予定

八幡平をもっと
楽しむためのフリーマガジン **ハチクラ**

2018.Vol.20 平成30年12月25日発行

企画・発行・問い合わせ先 八幡平市商工会
岩手県八幡平市大更35-63-85 TEL 0195-76-2040
http://www.shokokai.com/hachimantai/

印刷所 川口印刷工業株式会社

■本誌に掲載している情報は、平成30年12月10日現在のものです。発行後のデータ等が変更になっている場合があります。あらかじめご了承ください。
■本誌掲載の記事・写真等の無断掲載を禁止します。

プレゼント

本ページのアンケートに回答して下さった方に
抽選でプレゼント！ふるって応募してください。

1

わしの尾
「金印」



2

自遊工房 たけ珈琲「コーヒー飲み比べセット」

「スマトラマンデリン」
「キリマンジャロ」
「夢の追想」を各100グラム
※豆での発送となります。



5名様

プレゼント & アンケートの送り先

官製はがきに以下のことを記入し、ご応募ください。
FAXでも応募OK！

- ① ご希望のプレゼント
- ② アンケートの回答
- ③ 住所・氏名・年齢・電話番号

■ 送り先

〒028-7111 岩手県八幡平市大更35-63-85
八幡平市商工会「ハチクラ」係
FAX 0195-76-2145

■ 応募締切

平成31年2月1日(金) 当日消印有効

当選は商品の発送をもって代えさせていただきます。
今回ご記入いただいた個人情報は、八幡平市商工会の個人情報保護方針に基づき、責任をもって管理します。本人の同意を得ずに第三者に開示することはありません。

読者の声

ハチクラ19号に寄せられた
読者からのコメントを紹介。

●私の実家もりんどう農家です。両親が夜遅くまで小屋で働いていたとき、弟と一緒に家で宿題をしていた小学校時代を思い出しました。
(八幡平市 N・H)

●安代の特集を興味深く拝見しました。今年結婚した主人が安代の出身でハチクラを見ながら「ここは知ってる？」と会話がはずみます。次回も楽しみです。
(二戸市 M・M)

●初めて「ハチクラ」を手に取りました。とても写真がステキで内容も分かりやすいです。今まで盛岡へ遊びに行く際に八幡平市を通るのみでしたが、不動の滝へぜひ行ってみたいです。
(秋田県・M・M)

●19号は、私の知らない八幡平がいっぱいで、見のがせない情報ばかり。紅葉を見て八幡平に宿泊して、心がいやされ、大自然のパワーをいただきました。
(盛岡市 H・M)

会員募集中！

●バックナンバーも読んでわしの尾を飲んでみたいと思いました。次号も楽しみにしています。
(宮城県 K・K)

「ハチクラFANCLUB」は公式ファンクラブとして、ハチクラの活動を応援することを目的にした、ハチクラファンのためにメンバーを募集します。ハチクラの活動を応援しようという方ならどなたでも加入できます。

■ 入会費・年会費は無料

■ 特典

- ① ハチクラの最新号やバックナンバーをお手元にお届けします。
- ② ハチクラツアーなどのイベントをご案内します。
- ③ ハチクラグッズの企画がある場合に先行予約などを受け付けます。

■ 入会方法

希望の方は、メールでのみ受け付けます。
件名に「ハチクラメンバー希望」、メール本文に住所、氏名、年齢を記入し、送信してください。確認後、2～3日中にメールを返信します。

送信先 hachikurafan8@gmail.com

Just listen!

back number

バックナンバーのご案内

「ハチクラ」バックナンバーのお求めは……
下記までご連絡ください。
送料のご負担をお願いいたします。

連絡先

八幡平市商工会
TEL 0195-76-2040
(受付時間/平日9:00～17:00)



hachikura stay

「ハチクラ Stay」公開中！

八幡平をもっと楽しむための体験型プラン「ハチクラstay」が始まりました。ハチクラが紹介する魅力ある自然や風景、暮らしや人に触れながらステキな旅をしてみませんか。

コーディネーター/イーハトーヴォ安比高原自然学校
問い合わせ先/トラベル・リンク株式会社

<http://travel-link.jp/archives/11281>

「ハチクラ」は、
八幡平市商工会ホームページでもご覧いただけます。

ビッキーと行く八幡平

「雪の杉滝で」

撮影地 / 西根寺田



撮影

三浦 学

WILDGRAPE FARM・八幡平山ぶどう農園代表

遅くなった初雪に大興奮のビッキーは、寺田・暮坪の手前にある杉滝へ行ってきました。杉滝神社に一礼してから滝壺に下りていくと、すでに少し凍り始めているのを見てびっくり！ 危うく水の中に落ちるところでした。



●ビッキーとは、八幡平市の非公認マスコットキャラクター。その正体は、樹上で暮らす森の住人・モリアオガエル。「大湯沼とモリアオガエル」は国指定の天然記念物です。

八幡平

八幡平をもっと楽しむためのフリーマガジン 2018・Vol.20 平成30年12月25日発行 発行：八幡平市商工会

Take Free